

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
選択科目	2 単位	ボランティア活動	山下 智子	1 年次	春

授業のキーワード	共に生きる・出会い・隣人愛
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	今日の日本社会は、みんなが助け合って生きて行く共生の時代・参加型社会をめざしているといえます。ボランティア活動の目的は、援助することで自分とは違う状況の人と出会い、新しい自分と出会い、わかりあうという新しい出会いの喜びを得ることにあります。この講義では、ボランティア活動の意義を、有機農業の実習体験と異文化で生きる人々との生活、お年寄りへの介護を通して具体的・実践的に学びます。
履修のアドバイス・ 前提科目等	4月中旬に説明会がありますので興味のある方は参加してください。この講義は夏休みの集中講座ですが、①事前研修②実地研修③事後研修のから成っており①は春学期授業期間中から始まります。宿泊施設の関係上、定員は25名、4月中旬に参加の意思をはっきりさせる必要があります。研修にかかる実費(宿泊費・食費・交通費)は各自の負担です。参加者には積極的かつ責任感のある態度が求められます。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	ボランティアとは	ボランティア活動の現代社会における意義を学びます	第9講		
第2講	ボランティア活動の根底にあるもの	ボランティア活動の根底にある精神とくにキリスト教精神について学びます	第10講		
第3講	ボランティアとしての適切な態度とルール	ボランティアとしてのエチケットなどを学びます	第11講		
第4講	ボランティアとしての適切なコミュニケーション法	「聴く」「交流する」などの基本的なコミュニケーション法を学びます	第12講		
第5講	ボランティア受け入れ先のニーズとボランティア研修の内容	ボランティアの受け入れ先と実地研修の内容について知ります	第13講		
第6講	実地研修 3泊4日または累計80時間・・・夏休み中に行います	講義で予定している宿泊研修受け入れ地は、栃木県那須塩原町の「アジア学院」または群馬県榛名町の「新生会」です。	第14講		
第7講	事後研修	全員でそれぞれの研修先の状況や実地研修の体験内容、感想と反省点を報告し、今後の活動資料として報告書を作成します	第15講		
第8講			評価方法	事前研修 40% 実地研修および研修日誌 40% 事後研修および報告書 20%	
備考 (関連する資格・試験等)		①「アジア学院」は、アジア・アフリカから草の根で活動する農村指導者を招き、農村リーダー養成を行っているキリスト教の団体、留学生に交じって、国際協力や有機農業、自然食の大切さについて学び、農作業の手伝いをします。②「社会福祉法人新生会」は、榛名にある高齢者のための総合福祉施設です。高齢者の介護のお手伝いをしながらスタッフと共に自分の体験を見つめます。			
使用する教科書(必ず購入してください)			参 考 文 献		
適宜プリントを配布します			適宜授業中に紹介します		